

研究の構想図

相手の考えを尊重しながら聞き、 伝え合いを通して共に伸びようとする子

話す・聞く活動を通して

「人とのかかわりを深める」学習指導の工夫

- 「単元導入時に単元の最終目的を知らせる」ことで、相手意識・目的意識をもって学習を進めることができるようにする。
- 「台本型ワークシートを提供する」ことで、自分の考えを整理して相手に分かりやすく伝えることができるようにする。
- 「相手の考えをメモしたり、自分の考えと似ている部分に印を付けたりする活動を組む」ことで、相手と自分の考えを比べながら聞くことができるようにする。
- 「考えを伝え合う活動を繰り返し設定する」ことで、文章構成や話し方の工夫を学び合い、成長を確かめ合うことができるようにする。
- 「相互評価の機会を設ける」ことで、互いの考えを尊重し合い、よいところを伝え合うことができるようにする。 など

学習系統・環境の整備

- 付けたい力の設定
- 発表・話し合いの仕方マニュアルの設定と掲示
- 児童への意識調査の実施と考察
- 国語コーナー・ミニ図書館などの設置
- 学年掲示板の活用（詩・川柳・言葉遊び） など

話す・聞く活動を通して

「言語感覚を高める」学習指導の工夫

- 「モデル文を提示する」ことで、文章構成や話し方の工夫の仕方、適切な言葉の使い方などを理解できるようにする。
- 「CDやビデオによるモデルを提示する」ことで、よりよい話し方・聞き方のイメージをもつことができるようにする。
- 「ワークシートの構成を工夫する」ことで、話す順序を考えて文章を構成できるようにする。
- 「聞く観点を提示する」ことで、互いの考えの意図を意識して聞くことができるようにする。
- 「学習計画を作成して振り返りの機会を設ける」ことで、学習の成果を実感し、次時に意欲をもつことができるようにする。 など

日常の取組

- 音読カード（評価の観点がブロック学年で共通）
- スピーチ（朝の会または帰りの会）
- 聞き取りカード
（グループでの伝え合い、朝会の講話 など）
- ことばのたからばこ（国語コーナー）
- 発表・話し合いの仕方マニュアル
善前っ子学習のきまり（話し方・聞き方のきまり）
発表・伝え合いの仕方、声の大きさ
日直の進行・学級会の話し合いの仕方 など
- 「使えるようにしたい言葉」「分かるようにしたい言葉」の指導と活用
- 言葉遣いの生活指導（生活目標の取組など）
- 各学年のミニ図書館の活用（学習資料・辞典など）
- 口の体操（ことばのけいこ） など

